



嘉納治五郎の未公開書簡を杉村楚人冠記念館で展示

嘉納治五郎の未公開書簡を杉村楚人冠記念館で展示

展示名称 : テーマ展示「てがみ展 ～我孫子に集った人々」

展示期間 : 平成 31 年 1 月 16 日 (水) ～3 月 10 日 (火)

展示内容

大正～昭和初期の我孫子は、白樺派の文人や杉村楚人冠が居住していたことにより、「文士村」の様相を呈していたことが知られています。しかし、我孫子に集った人々は「文士」ばかりではありません。教育家の嘉納治五郎、西洋史学者村川堅固、日本郵船社長大谷登、三菱鉱業会長三谷一二など……。杉村楚人冠宛てのてがみから、我孫子に集った様々な人びとを紹介します。

嘉納治五郎書簡について

嘉納治五郎の書簡については、手賀沼干拓反対運動にかかわるものを以前から把握しており、杉村楚人冠記念館開館に先立ち、平成 21 年度には文化・スポーツ課歴史文化財担当主催の展示「楚人冠と景観保護活動」で公開した実績があります。

その後開館後の資料調査により、平成 28 年 1 月に寄贈された杉村楚人冠関係資料群のなかに、杉村楚人冠宛ての未公開書簡二通が含まれていることがわかりました。うち一通は嘉納が創刊した雑誌『柔道』への寄稿依頼、もう一通は嘉納が使用していた、天神山（嘉納別荘の所在地）から見た手賀沼風景の絵葉書の注文を杉村楚人冠に依頼するものでした。

平成 31 年の NHK 大河ドラマ「いだてん ～東京オリムピック噺」の放映に際しては、主人公の金栗四三、田畑政治を導く立場である嘉納治五郎にも注目が集まり、各地で嘉納の顕彰活動が盛んになることが予想されます。杉村楚人冠記念館でも改めて嘉納治五郎の顕彰推進を図るため、今回の展示でこの二通の書簡を初めて公開することにしたものです。

【問い合わせ】

我孫子市生涯学習部文化・スポーツ課
杉村楚人冠記念館 担当 高木
☎ 04-7187-1131 (内線 61-802)